

# ユーラシアンホットライン

## 3 月 11 日、12 日、石巻、南三陸町の仮設団地で激励コンサート

—慰霊と復興を祈る 2014 慰問ツアーの寄付を募集します。ご協力をお願いします—

東日本大震災から 3 年、震災後交流を続けてきた石巻・南三陸町への表題ツアーを以下のスケジュールで今年も開催します。

ボランティア活動に賛同していただける方を募集いたしますので、2 月 28 日までに参加される日程をユーラシアンクラブメンバーまでご連絡ください。

東日本大震災から 3 年が経ちましたが、復興は遅々として進みません。

長い仮設住宅暮らしは想像を絶するものがあります。

映画とコンサートで支援を継続していきたいと考えていますので皆様の協力、よろしくお願い申し上げます。

### 【宿泊料金】

- ・石巻グラントホテル（和室 4～6 人部屋）人数により 1 人 5,000 円程度 朝食付
- ・石巻サンプラザホテル（シングルルーム）1 人 6,000 円程度 朝食付
- ・石巻 BUNGO ボランティアハウス 1 人 3,000 円 素泊まり
- ・南三陸町ニュー泊崎荘 1 人 5,000 円 朝食付

### 【交通費】

- ・10 日桐生市市民文化会館発の方 各自精算
- ・10 日新宿駅発の方 レンタカー 2 台分、高速代、燃料代、

### 【日 程】

3 月 10 日（月）

AM8:00 新宿駅東口「明治安田生命新宿ビル」1 階 駅正面 大型車 2 台に分乗

PM3:00 石巻社会福祉協議会 1 F 石巻仮設住宅自治連合推進会 内海事務局長挨拶

PM3:30 押切沼仮設団地 斎藤自治会長挨拶、11 日の準備確認

PM4:30 カレー炊き出し用ライス 50～60 パック、福神漬け等購入

PM5:30 夕食

PM6:30 石巻グラントホテル（石巻サンプラザホテル）または BUNGO ハウス宿泊

3 月 11 日（火）

AM8:00 朝食を済ませ石巻港、被災市街、十八成浜、鮎川浜の現状視察

PM0:00 石巻駅近辺で昼食

PM1:35 石巻駅で当日出発組と合流

PM2:00 押切沼仮設団地集会室着 上映準備

PM3:00 「カムイと生きる」上映 上映中浦川治造さんの

運転手代を人数で精算

- ・11 日石巻で合流の方 上記費用から新宿～石巻分按分して減額

### 【「慰霊と復興を祈る 2014 慰問ツアー」寄付のお願い】

—寄付金の振込先—

口座；相愛信用組合中津支店 普通 0128190

NPO ユーラシアンクラブ 愛川サライ

・ミュージシャン 4 名と同乗できるボランティア車を提供できる方を募集しています。

・現地での炊き出し準備・実施、チラシ配布、会場での雑用等人手が必要です。

・ボランティア 15 人程度の参加を募集いたします。

・2 月 26 日（水）に矢部理事と永田で現地最終事前調整をしてみたいと思います。（放映確認等）

・スケジュール等ご意見をいただきながら、最終決定したいと思いますので、永田までメールもしくは電話連絡お願いいたします。

090-8087-6428

Mail: [f-cole@dh.catv.ne.jp](mailto:f-cole@dh.catv.ne.jp)

解説・トーク、炊き出し準備

PM5:00 炊き出しカレー・飲物（ポカリスエット）配布  
パンチャラマとチョータリバンド慰霊コンサート

PM6:30 イベント終了、片付け

PM6:45 出発

PM7:00 石巻駅で当日出発組第 2 陣と合流

PM9:00 南三陸町「ニュー泊崎荘」着

3 月 12 日（水）

AM8:00 「ニュー泊崎荘」出発

AM8:15 「平成の森」着 モンゴルスープ炊き出し準備、  
コンサートちらし配布

AM11:45 炊き出し開始、整体開始

PM0:30 パンチャラマとチョータリバンド慰霊コンサート

PM2:30 「平成の森」出発

PM4:00 石巻「大川小学校」着

PM4:30 「大川小学校」出発、新宿到着は PM11:30 頃の予定です。

●3 月 10 日 (月) 19:00～桐生市市民文化会館 (群馬県桐生市) に於いて

第 37 回市民コンサート「春を呼ぶヒマラヤの風コンサート」が行われます。

出演；パンチャラマ (バンスリ)、サラバンラマ (タブラ)、竹田弘樹 (ベース)

伊藤アツ志 (パーカッション)、加藤実 (ピアノ)

料金；1,500 円 (会員 1,300 円) ドリンク付

全席自由席になります。

このコンサートを聴いてから石巻に向かう方もご連絡ください。(石巻 AM4:00 頃着)

3 月 11 日 (火) 石巻駅 13:15 に到着する高速バスは下記になります。(料金 800 円)

仙台駅前 3 番乗り場 (さくら野百貨店前のバス停) 12:47

発石巻行き (仙台～石巻線) 石巻駅に 13:35 着になります。(新幹線は各自調査してください)



## 【サハ・テティム創設 5 周年記念コンサートに参加しました】

6 月 20, 21 日、サハの夏祭りの際に「大野遼」湖を交流の記念の場所として決定

サハ・夏まつりツアーを募集—北京・ヤクーツク・シカチアリャン交流ツアー

1 月 28 日から 2 月 7 日まで、サハ共和国ヤクーツク及びハバロフスク、シカチアリャン村訪問しました。

ヤクーツクへは北京経由で行く予定でしたが、ヤクーツク空港の霧の状態が悪く、滑走路が見えないと、マガダンで様子を見たうえで 5 時間遅れて到着となりました。冬は、霧が多く、航空機が着陸しにくい状況のようです。



それでも空港には、ゲルマン・クラウディア/ハトラエフ夫妻が待っており、日本人が-50 度近い気温になれていないのを心配して、毛皮の帽子や靴を持参し、服装の心配な同行者に渡してくれました。一行は、夫妻が主催する太鼓グループが活動する小学校に案内され、早速練習風景を紹介され、テティムの活動の驚嘆すべき成果を目にすることになりました。小学校低学年から卒業し大学や専門学校に通う若者まで、実に 80 人のテティム会員とその父兄が見守る中、2 月 1 日の夕方 5 時と 7 時の二回公演のリハーサルを繰り返してい



るところでした。テティムのメンバは、「年少組」「年中組」「年長組」そして「女性組」の 4 つに分けられ、技量に応じた





ユーラシアンクラブ ニュースレター第 166 号 2014 年 2 月 1 日  
プログラムが組まれ、一人一人が生き生きと堂々と、喜びいっぱい  
で太鼓をたたいていました。私たちは 29 日に到着しましたが、30  
日も、31 日も、その状況は変わらず、ゲルマン・ハトラエフ氏が、  
うまく子供たちをリードし、時に叱咤、激励しながら、両親たちは  
満足そうに練習風景を見学していました。テティムの活動は、子ど  
もたちの親たちの全面的な支持で支えられていることもよくわかり  
ました。テティムが創設されて 5 年。特にその間、2 年目と 4 年目  
に、私の住む神奈川県愛川町を訪れ、愛川高校和太鼓部の協力で、  
元鼓童のトップ奏者金子竜太郎さんの指導を受け、曲作りに挑戦し、  
その成果を発表する音楽祭を実施してきましたが、5 周年記念コン  
サートは、この研修の成果としてヤクーツクやサハ共和国国内では報



道されており、「日本とヤクーツク共同プロジェクト」としてポスターが張り出されていました。私たちの到着は、その日のうちに学校の校長室でテレビ局のインタビューを受けるなど注目されており、1 日当日数回にわたり報道され、テティム特集という 30 分の番組も流されていました。それを見ると、テティムが活動する学校関係者だけでなく、教育省ほか、サハ共和国国民が、サハの伝統文化再生の取り組みに大きな評価を与えていることが良くわかりました。ハトラエフ夫妻は、サハ中等学校だけでなく、共和国全土から集まって寄宿舎生活で学ぶ視聴覚障害者寄宿舎学校でも太鼓の復元・指導をボランティアで行っており、その活動への評価は大変高いものでした。番組の中では、ハトラエフ夫妻とユーラシアンクラブ、愛川町住民の協力、交流も取り上げられ、特に愛川町との交流は高く評価され、サハ共和国と日本の協力についてはよく知られていることが確認できました。今回の訪問は、年末に 5 周年記念コンサートが 2 月 1 日に開催されると通知され、ぜひ来てほしいと案内されました。しかし、年末年始で旅行社が仕事をしていないため、日程調整ができず、また「マイナス 51 度」などの情報で、未知の体験に希望者は増えず、相談の段階で「行く」と即答していただいた赤川猛愛川高校和太鼓部創設者、和太鼓部の一期生で、昨年の音楽祭で卒業生をまとめて「打縁」を設立した綱島健二さんの二人、それにかねて北方に興味を持っていた愛川町サポートセンターの小島佐則さんの四

人で行くことになりました。



4 人はサハ各地で、特にテティムの子どもたちの両親の家で格別な待遇で受け入れられ、歓迎されました。1 日のコンサートでは、文化大臣のそばに並んでチケットを用意され、最高の状態でコンサートを楽しみました。日本から締め太鼓 2 台を持参して参加した綱島さんは、リハーサルの段階からテティムの女性たちの人気をさらに、本番ではオープニングの笛と太鼓のソロ演奏、即興演奏、合同演奏、フィナーレへの参加とフル出場で「ケンジ」の名でスターデビューを飾りました。2 回目のコンサート終了後は、文化大臣のあいさつのあと、指名を受け、大野も、サハ共和国との 30 年あまりのお付き合いやニコライ・バラムイギンさん（元在日サハ共和国代表部代表で現在国立銀行幹部）、ハトラエフ夫妻招へい、鼓童のコンサートツアーのコーディネーター、アンドレイ・ボリソフ文化大臣（演劇作家・演出家）の作品「キース・デブリエ」の日本版総プロデュース、金子竜太郎さんの紹介、愛川町でのテティム研修実施などの活動を紹介しました。コンサートに先立ちボリソフ文化大臣と面会し、「以前グラジダンスカヤ ドブレスチ」というメダルをいただいた時、湖もついてくると言っていたがそれは冗談か？冗談でないなら、サハ共和国と日本のユーラシアンクラブ、愛川町との交流の記念の場所およびハトラエフ夫妻の太鼓をはじめとする伝統音楽文化の研修センターの場所として使用したいがどう思うか、と聞いてみたところ、即刻「大野さんの提案は深い意味がある。首都から 30 分から 40 分ほどの場所にいい場所がある」と図を書いてサインし、ここで探しましょうと答え、湖の名前も「大野遼湖・サハ語でオオノオゴンニョルキョレ（老人：尊敬する人）」としようと話し、コンサート後のあいさつでも 500 人の聴衆の間に紹介していました。6 月 20、21 日のサハの夏の祭りの際に再度訪問し、一緒に湖を回りどこをその交流拠点にするか、判断することになりました。ツアーの参加者を募集したいと考えています。今回の訪問は、サハと日本の交流の節目になったと考えています。7 月 21 日から訪問する女性の太鼓研修グループ受け入れのための準備に取り掛かります。



サハ訪問のあとハバロフスクに立ち寄り、シカチアリャン村に向かいました。村では、ニーナ村長とビクトリアドンカンさんの間で、2015 年開催の「もう一つのアジア 300 人の村の古代絵画展」の準備、シカチアリャン村のキャンプの運営体制等について話し合い、ハバロフスクでは日本センターの日本語教師で通訳のムシンスキーさんから、キャンプの NPO への贈与に必要な文書や手続きを教えてくださいただけることになりました。今回の訪問でさらに一歩進展したことになります。私は、昨年夏に続いて、これまでにお世話になった方々を墓参できました。

帰国後、三越への企画書の提案、ニュースレターの完成、東日本



被災地支援コンサート (3 月 10 日～12 日)、テティム受入れ企画書の完成、6 月 20 日サハ、シカチアリャンツアーの募集、年間事業報告書の作成、2015 年「300 人の村の古代絵画展」の準備、中津川モンゴルフェスティバルの準備、そして続けている連載「アジアの眼」23 号の完成等、時間のかかる仕事がたくさんあり、一つ一つクリアしていくつもりです。並行して、ユーラシアンクラブや愛川サライの皆様とご相談させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。私事ですが、帰国の前日 6 日、妻の母が 101 歳で永眠し、14 日の夜通夜、15 日の葬儀が決まり、大雪の中、家族葬が粛々と行われ、また時間が動いたのを感じました。 大野 遼

#### <バイオマス産業社会ネットワーク (BIN) 第 133 回研究会のご案内>

日 時：2014 年 3 月 18 日 (水) 15:30～17:30  
テーマ：「中越パルプ工業の竹紙の取り組み～地域の竹資源の収集と活用～」(仮題)

講演者：西村修氏 (中越パルプ工業株式会社営業企画部長)

会 場：地球環境パートナーシッププラザ

(東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学 1F)

地下鉄表参道駅より徒歩 5 分・JR 他渋谷駅より徒歩 10 分

<http://www.geoc.jp/access>

参加費：BIN 会員 無料、一般 1,000 円

※現在、全国の里山で竹が生い茂り、その活用を図りたいと考えている地域が多数あります。※しかし、国産の竹資源は、安定的に一定価格内で一定量を調達することが難しく、産業利用の成功例は多くありません。※そうした中で、中越パルプ工業株式会社

は、「木の駅」のバイオマス集積基地の「竹」版により、一定価格で買取、木材同様に紙の原料として竹も活用し、日本の竹 100% の「竹紙」も生産販売しています。

※国産の竹資源活用に至った経緯とその実用化の際の様々な困難をどのように克服されたのかなどについて、同社の営業企画部長の西村修氏に伺います。※会場の皆様とともに、今後の竹資源利用に向けて、活発な議論ができれば幸いです。

※参加をご希望される方は、下記よりお申し込みください。

<http://www.npobin.net/apply/>

※サーバーの不調等で送信できない場合は、お手数ですがお名前、お名前ふりがな、ご所属、電話番号、E-mail アドレスをご記入いただき、E-mail: [mail@npobinn.net](mailto:mail@npobinn.net) までお送りいただければ幸いです。

## 【インド通信】19号

## ベンガル訪問1

佐藤友美

〔1986 年生。幼少期をオーストラリアとシンガポールで、10 代は埼玉県で過ごす。オーストラリア国立大学でサンスクリット語と日本語言語学を学ぶが、優等学位のために書いた論文は津田梅子に関するものだった。その後東京外国語大学の博士課程前期に入学するも、現在休学してインド・ケーララ州で日本語教師として企業勤務。現在の主な関心はケーララ芸能。〕

ケララ通信と銘打っているのですが、今回はベンガルの話をしたいと思います。西ベンガル州は、大雑把に言えばバングラデシュ (旧東パキスタン、イスラム圏) のインド側です。イン

ドの右上の辺りをイメージしてください。バングラデシュという国名も、バングラ=ベンガル人の国、という意味です。



今回その州都コルカタからインド入りをしたのですが、地理的にはほぼ反対に位置しているにも関わらず、ベンガルとケーララには不思議な親和性があるようです。ベンガル出身でモーヒニヤットム（ケーララの巫女舞）の高名な踊り手もいますし、私が現在ついているパウル（ベンガル発の文化）の先生も、ケーララ芸能の担い手と結婚されています。

男性はケーララ人にしか見えません。女性はもう少し東洋的な香りのする顔立ちが多いですが、それでもケーララ人にしか見えない女性も多く見かけました。コルカタは同じ州都と言ってもトリバンドラムよりもずっと都会で、かつインドらしい汚さもありますが、電車に乗って少し出ると、牧歌的な田園風景が広がっていて、やはりケーララとの既視感があります。

しかし一方で大きな違いもあって、その最たるものは、口先だけではない文化への誇り、でしょう。どこに行っても、空港であっても、ベンガル語で話しかけられます（ケーララでは、圧倒的に英語を使いたがります）。コルカタは芸術の街、と呼べそうなほど、街にアートが溢れていて、地下鉄の駅の一つ一つにびっしりとタイルワークが施されているほどです。音楽的にも、民族音楽学者の草分け、小泉文夫がバリ、沖縄と並んで名を挙げた土地でもあります。

ケーララでは田舎でも道路がコンクリート舗装され、今いっそう強化されていますが、ベンガルではまだまだ、都市の外では砂の道が広がっています。道ばたでプラスチックなどを見かける率も、ずっと低いです。かのタゴールが創設したビシュババラティ大学の本拠地、シャンティニケタンも少しだけ訪れましたが、教育議論や環境議論の盛んなケーララ、ケーララも本当はこんな風になりたいのかな？ などと思ってしまいました。

それを裏付けるように、ケーララに戻って来て「ベンガルに



行って来た、シャンティニケタンに行って来た」と言うのと、「本当？ 私もいつか行きたいの！」と返されることが多いのです。これまでケーララに籠もりっきりだった私ですが、これからはケーララに留まらず、あちこちに行くことになりそうです。

## 【マレーシア通信】第20号 外国人労働者 ~萌えないメイド事情~

板坂 優一

※今回はメイドについてです。マレーシアではメイド業が意外と人気で、メイドのほとんどが他の東南アジアからの外国人労働者です。私の知っているインドネシア人メイドは子供を運ですぐマレーシアにわたって、パスポートの有効期限が切れたにも関わらず、今も働き続けている人がいます。彼女は町中も自由に歩けないらしいです。稀に警察によるパスポートチェックがはいるからです。そのような外国人不正労働や入国が多く、取り締まりが厳しいそうです。そういえば以前バス内で抜き打ちパスポートチェックが入ったことがあり、その時パスポートを持っていなかったのでまずいなーと思っていたら、他の外国人と思われる人達はチェックされたのに僕だけチェックされませんでした。だいたいマレーシア人化してきた証だと思います。

● 板坂 優一：198

3年生まれ。北海道出身。2009年の冬からバックパックとギターを背負って中国からシリアまでアジア横断の旅へ。そこで見た『イスラムの世界』に魅せられ、現在マレーシアのペナンにてアジアの文化、特にイスラム圏について宗教、社会などの勉強をしている。

マレーシアには東南、南アジアからの出稼ぎ労働者が多く、主にバングラディッシュ、ネパール、パキスタン、ベトナム、フィリピン、インドネシア等から単身でやって来ている。これ

らの労働者達は男性だけでなく、女性の出稼ぎも多い。女性労働者の多くが主要都市部の高所得者の家庭等でメイド（アマ）として働いていて、マレーシアのマダム達を支える重要な労働

力として重宝されている様だ。ちなみにメイドと言っても俗にいう『萌え』な感じではない事を承知して貰いたい。なのでよくあるフリフリのメイド服も着ていないしメガネでもなく（実際誰もメガネをかけていない！）、どこにでも居そうな東南アジアのおばちゃんだ。と言うことで今回はメイドについて軽く触れてみたいと思う。

マレーシアの主要都市、ペナン、クアラルンプール、ジョホールバル等では目覚ましい経済発展により、経済的に余裕がある家庭がどんどん増えている。それに連れてメイドの需要も増えているようだ。メイドを雇っている多くの家庭は、何らかのビジネスをしていたり、共働き等の事情で家事の時間を取るのが難しい状況にあり、しかもそういった家庭の大半は高級コンドミニアム（高級マンション）の様な、誰かの手を借りなければ家事など到底回せられない様な家に住んでいる（まるで大御所芸能人のお家みたいな感じで部屋が驚くほど広い）。更に小さな子どものいる家庭は尚更助けは必要だ。また、先進国からの外国人も東南アジアの物価の安さ故に高級コンドミニアムに住む人が多く（またセキュリティ上そっちが良い）、しかも比較的安価な値段でメイドを雇えるのでこうした外国人にも人気だ。ちなみにペナンに居る日本人の多くもメイドを雇っていて、中には家事を殆ど任せている人もいる。実際掃除から子供の世話まで何でもしてくれるのでとても助かるらしい。

メイドについてあまり詳しく知らないが、メイド派遣会社があり、メイド志望者はまずそこに在籍し、顧客からの要望があれば顧客の元に派遣されるようだ。顧客の要望に合わせて、住込みでの依頼から単発での依頼まで引き受ける。住込みの場合は1ヶ月3万円位で、さらにメイド用の身の回りの品々（普段着から食事まで）と部屋も用意してあげなければならない。か



と言って、雇う側と同じ身なりや食事を与えられる訳では無く、また同等の立場であってならない。よく見かけるのが、レストラン等で小さな子どもに食事を与えたり、世話をしているメイドだ。家族の食事の場に同席するが必ずしも一緒に食事を楽しませてもらえる訳ではない。あくまでもメイドは『お手伝いさん』としての雇われの身な訳で、常に手伝いに専念せねばならない。住込みの場合だとメイドと雇う側の境界線が曖昧になりがちになるので雇う側も雇われる側も、双方の関係性を曖昧にさせないよう、身なりや態度等で差をはっきりさせて関係性を維持している。

そもそもメイド業自体、人権問題すれすれな所もあり、派遣会社がパスポートを取り上げて働かせたり、顧客からのひどい扱いによる事件も時々ニュースに上がってくる。表面上に上がらない問題も沢山あるだろう。個人的にはメイド業にせよ人と人同士の関係は人以下に扱ってはならないと思うがそれに比較的近いと思われる状況に遭遇した時、複雑な気持ちになる。例えばレストランで見かけるメイドに関しては、理屈は分かるが、いざその光景を目にするとそれが残酷にも見えたりする。かと言って一部の光景を見て極端に悲観視する必要もないし、またみんなが過酷な労働条件下に居るわけでもない。しかしもし自分がメイドを雇ったなら、、と考えると私はちょっと情が入りすぎて無理かもしれない。

## 【モンゴル通信】第1号

## 狼と戦った種馬

2013 年末ころから、WeChat（微信、中国版ツイッター）によるモンゴル人のネットワークである写真が次々に転送された。群れを守るために満身創痍になりながら狼と戦い、退治した種馬の写真である。それを見ると、種馬はたしかに首や鼠径、後ろ足などを何か所も噛まれた痛ましい姿であった。

その種馬は、内モンゴル自治区シリントグ盟アバガ旗ナランボラグ郡の



## バー・ボルドー

遊牧民所有のものであるという。

種馬はモンゴル語ではアザラグと言う。アザラグは勇猛で、運気を呼ぶ種畜というイメージが強く、群れを狼などから守ることで知られている。アザラグの鬣は生涯切らず伸ばしっぱなしにするので、風に靡く長い鬣の勇姿は



伝説の駿馬のように見える。アザラグの鬣を切らない訳について次のような伝説が語り継がれている。

昔々、大勢の馬を持つ馬飼いの青年がいたそうだ。その群れの中には真っ黒な毛並みのアザラグがいた。ある朝、馬群のところへ行ってみると、一匹の狼が少し外れたところで死んでいた。馬飼いはその狼を馬に積んで持ち帰った。しかし、次の朝も狼がまた一匹死んでいた、たいへん不思議に思い、その夜は群れを夜通し見張ることにした。夜明けになると、何匹もの狼が馬群に近寄ってきた。すると、黒いアザラグは勢いよく馬群を一ヶ所に集めておき、狼と戦いはじめたのである。アザラグはそのき甲に飛び乗った狼たちを長い鬣で巻き上げて、地面に叩き付けて殺していた。馬飼いの青年はすっかり仰天し、狼たちをなんとか持ち帰った。しかし、青年は興奮のあまり我を忘れてしまい、「アザラグにはあの長い鬣が狼狩りのじゃまになっているんだ、そうじゃなければもっとたくさん殺せるはずだ」と思った。そして黒いアザラグを掴めてきて、長い鬣を切ってしまった。その夜はアザラグと狼のことが気になり、どうしても寝られず、夜明けごろに起き上がって馬群のところに行ってみた。ちょうどその時、狼とアザラグは激しく戦っていた。狼はアザラグに飛び乗り、鋭い牙をそのき甲に深く食い込ませ、まさに押し倒そうとしていた。アザラグは次第に弱まってしまう、まもなく息絶えてしまった。彼はやっとアザラグの最大の武器が鬣であったことに気付いた。それ以来、アザラグの鬣は生涯切らない風習がモンゴル中に広まったそうである。

この伝説のように、馬群に危険を及ぼす狼はまさにアザラグの宿敵である。チンギス・ハーンが勇猛で気運を呼ぶアザラグの鬣をツァガン・スルデ（白い幟）、ハル・スルデ（黒い幟）を使った理由もわかる気がする。遊牧社会において、飼主はアザラグには絶対的な信頼を寄せる。モンゴル人は馬群の頭数を数える時、一頭ずつ数えるのではなく、アザラグの数だけ数えるのだ。一頭のアザラグは、群れの中で 20-30 頭の雄雌の馬を管理する。自分の群れには絶対的な責任を持ち、どんな場合で

も守り抜く習性がある。モンゴルでは、馬群は何頭かのアザラグから構成される場合が多い。例えば、3 頭のアザラグがいれば、おおよそ 100 頭ほどの馬の群れということになる。アザラグさえ安泰なら馬の群れは絶対に安泰であるという信頼から、持ち主はアザラグだけ数えるわけだ。これは家畜による家畜の管理方法として注目に値する。

さて、本題に戻るが、内モンゴルにおけるアザラグの話題とほぼ同時にモンゴル国のウェブサイトでも、同じ写真付きで東部のスヘバートル県の某遊牧民のアザラグが狼を退治した、「モンゴルの誇りだ」という記事が掲載された。皮肉にも一頭のアザラグが内外モンゴルの奪い合いになったのである。ある内モンゴル人は自分の WeChat にこう書いた。「どこのだれのアザラグであろうと、モンゴル高原には狼と戦える勇ましいアザラグがまだいたことがうれしい」。つまり、「狼と戦ったモンゴルのアザラグ」という事実の方が何よりも感動的であったのだ。それは内モンゴル人にとって、民族的文化的に衰退する現状における心の叫びでもあったかもしれない。

現在、内モンゴルにおいて、さまざまな問題が浮き彫りになっている。資源開発や生態移民による強制的な移住、そして定住化、農耕化などの政策により、伝統的モンゴル文化は衰退の運命を辿っている。特に従来の遊牧文化は消滅し、定住型牧畜や半農半牧、農業という生業へと変わっている。内モンゴルの学者である、ボルジギン・ジャルガルはその著書『遊牧文明史論』のなかで、内モンゴルのモンゴル人はもはや「遊牧生活の集団的忘却者」になってしまっていると綴ったことを思い出す。多くのモンゴル人は内モンゴルの伝統文化の行く末について悲観的であり、文化の滅亡を目の当たりにした自分たちへの失望感、焦燥感に駆られている。そうした心象が一頭の勇猛な種馬を通じて現われていると考えられる。種馬の勇ましさに自分たちの失望感から解放される夢への一筋の光を見出したのかもしれない。

## メディア・ユーラシア情報 ネットリサーチ

東京外国語大学「日本語で読む中東メディア」が注目 <http://www.tufs.ac.jp/common/prmeis/fs/> です。

### 【北アジア】

○ デモ隊が大統領府占拠 ティモシェンコ元首相釈放 ウクライナ 2014.2.23 02:02 (1/2 ページ) [欧州]

【モスクワ＝遠藤良介】ウクライナからの報道によると、首都キエフの中心部に集結している反政権デモ隊の一部は 2 2 日、大統領府を占拠した。ヤヌコビッチ大統領はキエフを離れて東部のハリコフに滞在しているとされ、求心力が急速に低下している。議会は 5 月 2 5 日に前倒し大統領選を行うことを決議し、昨年 1 1 月からの大規模な反政権デモは新たな局面に入った。

ヤヌコビッチ氏は 2 2 日、地元テレビのインタビューに応じ、キエフでの大規模デモや議会の動きを「クーデターだ」と非難。

議会で可決される法案には署名しないと述べたほか、「大統領を辞任する考えはない」と強調した。

インタファクス通信によると、ヤヌコビッチ氏の政敵で投獄されていた最大野党「祖国」の指導者、ティモシェンコ元首相が収容されていたハリコフの病院を出た。キエフに向かっているという。

キエフ郊外の大統領公邸は、少数の警備員しかおらず、報道陣が出入りできる状況となった。ヤヌコビッチ氏は親ロシア派の強い東部を拠点に抵抗する可能性があるが、政権は末期症状を呈し始めた形だ。

議会では与党の地域党から離党する議員が相次ぎ、辞意を示

した同党のルイバク議長に代わって「祖国」のトゥルチノフ議員が新議長に選出された。議会は大統領が自ら職責を放棄したとし、ヤヌコビッチ氏に辞任を求める決議を採択した。

ヤヌコビッチ氏は 21 日、政治危機の収束に向け、前倒し大統領選の年内実施などを盛り込んだ野党 3 党代表者との合意文書に署名。だが、デモ隊の間では大統領の即時辞任を求める声が高く、野党もそれに応じて退陣圧力を強めた。

キエフの大規模デモは欧州連合（EU）との統合路線継続を求めて行われ、今月 18 日以降には治安部隊との衝突で 77 人が死亡した。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140223/erp14022302070003-n1.htm>

○ウクライナ大統領と野党が合意、大統領選前倒し

2014 年 02 月 22 日 08:37 JST

「キエフ／ベルリン／モスクワ／ロンドン 21 日 ロイター」  
- 反政権派と治安部隊の衝突で揺れるウクライナのヤヌコビッチ大統領は 21 日、事態収束に向け、欧州連合（EU）の仲介の下で野党 3 党の代表と合意書に署名した。

ヤヌコビッチ大統領は、大統領選挙の前倒しや挙国一致政府の発足、大統領権限を制限する憲法改正など一連の譲歩に応じた。

署名を受け、議会は大統領の権限を制限する 2004 年憲法を復活させる案を可決するとともに、刑法の改正案を承認。これにより、職権乱用罪で服役中のティモシェンコ前首相が釈放される可能性も出てきた。

ただ、これらの譲歩を受け、ヤヌコビッチ大統領の即時退陣を求めるデモ隊がキエフの独立広場の占拠をやめるかどうかは不透明だ。

ヤヌコビッチ大統領は、多数の犠牲者が出ているウクライナの危機解決に向け、夜を徹して野党勢力と協議。ドイツのシュタインマイヤー外相のほか、ファビウス外相、シコルスキ・ポーランド外相らが仲介役を果たした。

EU や米ホワイトハウスは合意をたたえたが、ロシアは支持を表明することは控えた。

EU 代表は立会人として合意書に署名し、「あらゆる暴力や対立の即時停止」を求める共同声明を発表した。

一方、ロシアのプーチン大統領の人権担当特使ウラジーミル・ルーキン氏は合意書に署名しなかった。インタファクス通信によると、同氏は「ロシアが交渉に加わる時期が遅かったのは適切でない。最初から交渉の形式について合意があるべきだった」と語った。

EU のアシュトン外交安全保障上級代表は、合意内容の履行

#### [西アジア]

○シリア死者が 14 万人超える、子どもは 7600 人＝人権団体

2014 年 02 月 17 日 07:11 JST

「バイルート 15 日 ロイター」 - 英国を拠点とする人権団体「シリア人権監視団」は 15 日、約 3 年前に始まったシリアの反政府デモや内戦による死者が 14 万人を超えたと明らかに

には大きな困難が伴うとの見方を示し、当事者がいかなる暴力の脅しもちらつかせないことが重要だと述べた。

ロシアのラブロフ外相と協議し、暴力を止める必要があるとの認識で一致したことも明らかにした。

また、この日の合意を受け、EU が前日にまとめた制裁の行方をめぐりどのような決定を下すかは、現地に滞在する加盟国の外相が報告する情報次第との考えを示した。

米ホワイトハウスの報道官は、合意内容が実施されない場合、引き続き追加制裁を発動する用意があると述べた。

ウクライナ経済の見通しはなお不透明だ。ウクライナが昨年 11 月に EU との協定締結を拒否した後、ロシアは同国に対し 150 億ドルの援助を約束したが、実施する意向を変えていないかは明確にしていない。

格付け会社のスタンダード＆プアーズ（S&P）は 21 日、ウクライナの長期外債建てソブリン債格付けを 1 段階引き下げ「CCC」とした。S&P がウクライナの格付けを引き下げるのは、ここ 3 週間で 2 度目。政治情勢の大幅な悪化を指摘した上で、デフォルト（債務不履行）リスクについて警告した。

金融市場では、合意への期待感から通貨フリブナが上昇した。  
<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTJEA1K00E20140221?rpc=223=obinsite>

○ ウクライナ、拘束したデモ参加者に恩赦

【2 月 17 日 AFP】反政権デモが続くウクライナの司法当局は 16 日、これまでに拘束したデモ参加者への恩赦を発表した。デモ隊側が拘束中の活動家の釈放を条件に同日、占拠していた政府庁舎を明け渡したことを受けての措置で、野党側にとっては小さいながらも勝利といえる。

ウクライナ検察庁は 16 日夜の声明で、17 日に恩赦法が発効し、拘束中のデモ参加者に対する起訴は取り下げられると発表した。

ウクライナでは、親ロシア路線をとるビクトル・ヤヌコビッチ（Viktor Yanukovich）大統領が EU との連合協定への署名を見送ったことがきっかけで起きた反政権デモが、警官隊との衝突に発展。国内は 3 か月近くにわたる混乱に陥り、首都キエフ（Kiev）では市庁舎などが 2 か月間にわたって占拠されていた。

ただ、反政権側はさらに要求を通すべく政府に圧力を加えていく構えを示している。キエフ中心部の独立広場（Independence Square）は依然としてデモ隊が占拠を続けており、バリケードの周囲を警官隊が包囲している。

(c)AFP/Marianne BARRIAUX, Oleksandr SAVOCHENKO

<http://www.afpbb.com/articles/-/3008655>

した。

シリア人権監視団は、これまでの死者数が 14 万 0041 人に達したと発表。このうち子どもが 7626 人、女性は 5064 人だという。反体制派を支持する同団体は、シリア国内の活動家らから情報を得ている。



ただ、14 万人超は身元を確認できた死者のみだとし、実際の犠牲者数はさらに多い可能性がある」と指摘した。

国連は先月、シリアでの安全確保ができず、正確な死者数の確認が困難だとし、今後は死者数の更新を控える」と発表した。

[http://jp.reuters.com/article/jp\\_mideast/idJPTYEA1F01E20140216](http://jp.reuters.com/article/jp_mideast/idJPTYEA1F01E20140216)

○シリア和平会議の行き詰まり、政権側に原因＝米国務長官  
2014 年 02 月 17 日 18:32 JST

【ジャカルタ／ジュネーブ 17 日 ロイター】 -ケリー米国務長官は 17 日、ほとんど進展がみられないシリア和平会議について、同国のアサド政権が交渉を行き詰ませたと批判した。

ケリー長官は訪問先のインドネシアで、「(政権側は) 自国民にたる爆弾を落とし、自国を破壊し続ける以外は何もしなかった」と非難。「アサド大統領が和平交渉を通じてではなく、軍事攻撃によって内戦勝利を目指していることは明らかだ」と述べ

た。

また、ロシアはアサド政権への武器供給を停止すべきだとし、ロシアは内戦終結に向けた取り組みに協力する必要があると強調した。

内戦終結に向けてスイスのジュネーブで行われた国際和平会議は 15 日、2 回目の協議を終了。シリア政府と反体制派は 3 回目の協議開催に合意はしているが、具体的な日程は決定していない。

仲介役を務めた国連・アラブ連盟合同のシリア特別代表ブラヒミ氏は会見で、協議に対するシリア国民の期待は高かった一方で、大きな進展はなかったとし、国民に謝罪した。シリア政府と反体制派は内戦終結に向けた責任を考えるべきだとし、特に同国政府に対し、会議の主な目的が政権移行であることを受け入れるよう求めた。

[http://jp.reuters.com/article/jp\\_mideast/idJPTYEA1G06920140217](http://jp.reuters.com/article/jp_mideast/idJPTYEA1G06920140217)

## 【南アジア】

### ○ インドに広がる政権交代の動き

国際協力銀行・代表取締役専務 前田匡史  
2014.2.22 14:00

#### ■インドに広がる政権交代の動き

昨年 12 月中旬、インドの首都デリーを訪問した。石油エネルギーの大半を中東に依存するわが国にとってインドは海上交通の要衝であり、日本政府も「戦略的パートナー」と位置づけている。こうした観点から安倍総理も 1 月下旬にインドを訪問し、デリーメトロの建設支援を含む総額 2 千億円強の新規円借款供与を表明した。

日印首脳会談の相手は与党国民会議派を率いるマンモハン・シン首相。シン首相は過去 10 年にわたり、首相としてインドの経済発展のためリーダーシップを発揮してきた。親日家であり、これまで 5 回訪日して日印の戦略的パートナーシップ推進にも貢献している。しかし、そのインド政界に異変が起きているようだ。

その兆候はまず、昨年 12 月に開票結果が明らかになった州議会選挙に現れた。デリー首都圏と 4 州で選挙が行われたが、最大野党インド人民党 (BJP) がデリーと 3 州で勝利し、第一党となった。特にデリーでは BJP は改選前の 23 議席から議席を伸ばし、70 議席中 31 議席を獲得。改選前は 43 議席で第一党だった国民会議派はわずか 8 議席にとどまった。国民会議派は 2003 年、08 年の選挙で大勝して圧倒的な第一党であったが、今回の選挙では汚職撲滅を掲げた新党、庶民党 (AAP) が 28 議席を獲得して第二党となり、第三党に転落した。今年の 5 月までには、インドで総選挙が実施される予定だ。率直に言って、シン首相の政権運営に大きな失策があったとは思えない。国民会議派は中道現実路線の政党であり、シン首相の下で安定的な経済成長を実現し、主要 8 カ国 (G8) に代わる 20 カ国・地域 (G20) のメンバーとしても存在感を示している。

ではなぜ、ここまで国民会議派が退潮傾向にあるのだろうか。一つには最近のインド経済の成長鈍化が挙げられる。5%台の成長率だが他の新興国には後れを取っている。成長率が高い間は不満が顕在化しないが、成長の鈍化に伴い所得格差が大きな問題となった。皮肉なことにもう一つの要因は、インドが選挙によって政権交代が可能な民主主義国家だということだ。古い身分制度が残るインドでは、有権者の漠然とした不満や閉塞(へいそく)感が、汚職や女性に対する性的暴力などの事件を契機に大きなうねりとなりやすい。国民会議派は格差問題に対してはっきりとしたビジョンを打ち出せず、有権者が失望したのだろう。

12 月のデリーは深いスモッグに包まれていた。「中国のスモッグと違い色が黒くないだろう。それだけこちらの方がましだよ」。インド商工省のある次官はこう述べた。軽い冗談のつもりだったのだろうが、私には問題を正面から直視せず、緊張感を欠いた姿勢のように思われた。

今回の訪問はデリー・ムンバイ産業大動脈開発会社の取締役として、具体的なプロジェクトを進めるためのものだった。デリー・ムンバイ産業大動脈は首都デリーと最大の商業都市ムンバイを高速鉄道で結ぶとともに、沿線に新たなエコタウンなどの住みよい環境を日本とインドの協力で実現しようという大構想であり、日印戦略的パートナーシップの軸となるプログラムだ。「インドで政権交代があっても引き続き進めていけるようしっかりと準備をしなければ」と気を引き締めている。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140222/asi1402221400001-n1.htm>

### ○パキスタン和平交渉難航 武装勢力のテロ攻撃活発化

2014.2.19 08:33

【ニューデリー＝岩田智雄】パキスタンのシャリフ政権とイスラム武装勢力「パキスタンのタリバン運動 (TTP)」の和平交渉が、開始から 10 日余で早くも頓挫の危機にひんしている。

タリバン運動は交渉中にもかかわらずテロ攻撃を活発化させ、政権側が猛反発しているためだ。

タリバン運動との和平交渉は、昨年 6 月に就任したシャリフ首相が公約に掲げていた。政府は先月 29 日に和平交渉委員会を設立し、今月 6 日に首都イスラマバードで初協議が行われた。

ところが、地元メディアによると、タリバン運動の一派は 16 日、拠点とする同国北部の部族地域で 2010 年 6 月に拉致、拘束していたパキスタン兵 23 人を処刑したと発表した。

シャリフ首相は 17 日、処刑を「非道だ」と強く非難し、「平

和を促進するための対話に極めて悪い影響を与えている」として、この日の協議を中止した。18 日には、北西部ペシャワール近郊でパキスタン軍幹部 1 人がタリバン運動による攻撃で殺害された。

タリバン運動の思惑について、政治評論家ユスフザイ氏は「交渉を有利に進めるため政府に圧力をかける狙いがある」と解説した。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140219/asi14021908330002-n1.htm>

## 【東南アジア】

### ○ タイ南部、銃撃で 4 人死亡 2014.2.22 21:42

反政府イスラム武装勢力によるテロなどが続くタイ南部のヤラ県で 22 日、住民に対する銃撃事件が相次ぎ、地元メディアによると、村の幹部ら計 4 人が死亡した。警察当局は武装勢力の犯行とみて調べている。

同県ガバン地区で同日午前、ゴム原液の買い取りに来ていた男性 3 人に対し、バイク 2 台に分乗した男 4 人が突然発砲。男性 3 人が死亡、子供 1 人が負傷した。同県ラマン地区でもほぼ同時刻にゴム農園で働いていたパタニ県ガボ地区の村の幹部男性が何者かに銃撃され死亡した。

タイ南部では 2004 年以降、自治権拡大などを求める武装勢力によるテロが増加、これまでに約 6000 人が死亡した。政府と武装勢力側は昨年から和平交渉を開始したが、首都バンコクでの反政府デモの影響などもあり、停滞している。(共同)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140222/asi1402221440004-n1.htm>

○首相の仮執務室にデモ タイ反政府派、圧力強める

2014.2.19 20:25

タイのインラック政権打倒を掲げる反政府派は 19 日、インラック首相が仮の執務室を置いているバンコク郊外の国防省関連庁舎を包囲する 1 万人規模のデモを実施した。インラック氏は同庁舎での執務を取りやめ、不在だった。

反政府デモを主導するステープ元副首相は 18 日夜の演説で、インラック氏が首相を辞任するまで追い回すと宣言。反政府派は 19 日朝、占拠を続けるバンコク市内の各拠点から、車などで同庁舎前に集結した。

ステープ氏は庁舎内で国防省当局者と会談し、首相にこれ以上同庁舎を使わせないよう要求した。庁舎周辺は軍兵士らが警備したが、混乱はなかった。

一方、保健省によると、18 日に警察当局が行った反政府派の拠点排除作戦に絡む死者は 1 人増え 5 人に、負傷者は 71 人になった。(共同)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140219/asi14021920260003-n1.htm>

## 【東アジア】

### ○米大統領、チベットの人権擁護を強く支持「中国は対話再開を」 ダライ・ラマ 14 世と会談

2014.2.22 08:55 [中国]

【ワシントン＝青木伸行】オバマ大統領は 21 日、ホワイトハウスでチベット仏教の最高指導者ダライ・ラマ 14 世と会談し、チベット人の人権擁護を強く支持した。両者は中国政府がチベットとの対話を再開すべきだと認識で一致した。中国は会談に強く反発しており、東・南シナ海問題にチベットを加えた「核心的利益」をめぐる米中の反目が強まっている。

オバマ大統領は (1) チベットの宗教、文化、人権擁護を強く支持 (2) 高度の自治を求めるダライ・ラマの「中道路線」を支援 (3) 中国とチベットとの直接対話を奨励 (4) チベットは中国領で、米政府はチベットの独立を支持しているわけではない—との見解を表明した。

ダライ・ラマも「チベットの独立を追求しているのではなく、中国政府との対話再開を望んでいる」と応じた。カーニー大統領報道官は、両者は「前向きで建設的な米中関係の重要性でも一致した」と述べ、中国に配慮も示した。

会談の性格について、カーニー報道官は「過去の会談と同様、国際的に尊敬を集めている宗教、文化的な指導者として会った」

と説明。会談が大統領の私的会合などに使われる「マップルーム」(地図の間)で行われるなど、公的な色彩を薄めている。

また、國務省のハーフ副報道官は「米中は北朝鮮とイランの核問題など、多くの課題で協力している」と述べ、会談が米中関係に及ぼしかねない悪影響の払拭に努めた。

だが、中国外務省は「ダライ・ラマは国際社会で長期にわたり中国の分裂活動を行っており、会話は駄目だ」と強く反発。米中両国はオランダ・ハーグで 3 月下旬に開かれる核安全保障サミットに合わせた首脳会談の開催を調整しているもようだが、21 日の会談が影響を及ぼす可能性もある。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140222/amr14022208560001-n1.htm>

○中国、少数民族に思想教育強化 新疆とチベットで 反発住民を多数拘束

2013.12.12 20:59 [中国]

中国が、独立運動の続く新疆ウイグル、チベット両自治区で今月に入り、少数民族を対象にした大規模な思想教育運動を始めたことが 12 日、分かった。宗教行為を制限し、反発した住民を次々と拘束しているという。ウイグル族関係者らが明らかにした。



これまで地元当局者が職場や学校などで口頭で行っていた宗教上の指導が明文化され、ウイグル族やチベット族に学習会などを通じて徹底されているという。

習近平指導部は、10月に北京の天安門前でウイグル族の犯行とされる車両突入事件が起きて以降、ウイグル族とチベット族への引き締めを強化。少数民族の間で不満が高まっており、民族対立が深まるのは必至だ。(共同)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/131212/chn13121221010005-n1.htm>

○ 江沢民氏ら国際手配要請 スペイン裁判所、チベット族虐殺容疑で 2014.2.12 00:42

【ベルリン＝宮下日出男】スペインの全国管区裁判所は10日、チベット族に対する「ジェノサイド（民族・集団の計画的な抹殺）」に関与した疑いで、昨年11月に逮捕状を出していた中国の元最高幹部、江沢民元国家主席や李鵬元首相ら5人を国際手配するよう国際刑事警察機構（ICPO）に要請した。

ICPOが要請を受けて国際逮捕手配書（赤手配書）を出せば、中国を含む加盟国は容疑者引き渡しのため、身柄拘束への協力を求められる。ただ、強制力はなく、実際に拘束される可能性は低いとみられる。

他に国際手配を要請されたのは、喬石・元全国人民代表大会常務委員長（国会議長）▽陳奎元・元チベット自治区共産党書記▽彭珮雲・元国家計画出産委员会主任。

スペインは人道に対する罪に関し、国外の事件でもスペイン

の裁判所に管轄権があると規定。スペイン国籍の亡命チベット人を含む支援団体が5人を告発し、1980～90年代の民族抹殺に関与した疑いが強いとして、逮捕状が出ていた。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140211/erp14021119160004-n1.htm>

○ 北朝鮮の国際刑事裁判所を勧告、甚大な人権侵害で＝国連調査委 2014 年 02 月 17 日 23:34 JST

〔ジュネーブ 17日 ロイター〕-国連調査委員会は17日、報告書を公表し、北朝鮮が甚大な人権侵害を行っているとして、同国を国際刑事裁判所（ICC）に付託するよう国連に勧告した。

報告書は372ページに及び、日本や韓国、英国、米国で脱北者らに行った公聴会の結果などを踏まえてまとめられた。

カービー委員長が金正恩（キム・ジョンウン）第1書記に1月20日付で送った書簡も公表、金氏本人が人道に対する罪で責任を追及される可能性もあると指摘した。

報告書は抑留施設内の拷問房の存在を指摘。多数の容疑者が、虐待や意図的に生じさせた飢え、劣悪な生活環境に伴う病気で死亡しているとした。

委員長は、中国が脱北者を本国に強制送還し、脱北者は拷問や抑留、即決処刑、妊娠中絶の強制や性暴力を受けていると指摘。人道に対する罪を手助けしている恐れがあるとして、関係者に注意を促すよう在ジュネーブの中国大使に求めた。

## 【日本経済】

○ 日本のギリシャ化回避は可能か 2014 年 01 月 29 日 16:09 JST  
中川 泉

日本の財政赤字を補填する源泉となっている経常黒字。その「黒字神話」が陰りを見せる中で、日本がギリシャ化するのではないかと古くて新しい議論が、再び俎上（そじょう）にのぼっている。

2013年暦年で日本の貿易赤字が11兆円台と過去最大を記録。さらに経常収支も昨年10月、11月の実績値が赤字となり、未発表の12月、今年1月の数字も赤字になりやすい月だけに、4カ月連続の経常赤字に陥る可能性も出てきたためだ。

比較可能な1985年以来10兆円から20兆円台で推移してきた年間経常黒字が、13年は4兆円にも満たないことになりそうだ。

企業間でも財政危機への不安は強い。欧州のような財政危機が日本で発生する可能性があるかについて、ロイターが国内企業400社を対象に今月調査したところ、10年以内に発生するだろうとの回答が6割に達し、10年以上先に発生もしくは発生しないとの回答4割を上回る結果となっている。

とはいえ、経済規模や、財政を支える金融資産の裏付けなどのデータで比較すれば、日本がギリシャ化することは考えにくいように思える。

財政赤字のGDP比率はギリシャが09年に14%まで

上昇したのに対し、日本は14年末見通しで8.5%と相対的に低い。政府債務の家計金融純資産に対する比率は、ギリシャが08年に220%だったのに対し、日本は90%程度と、辛うじてまだカバー可能な状態にある。

経常黒字が激減していても、年間で赤字に陥る可能性は極めて小さい。なんといっても日本では国債の金利が極端に低く、誰も国債の信用性を疑っていないかのようだ。

しかし欧州財政危機に詳しい国際金融筋は、「経済データだけに頼った判断では不十分。ギリシャ化しかねない最大の問題は、日本人のメンタリティーがギリシャと酷似している点だ」とみている。

欧州でも指折りの富豪や資産家が少なくないギリシャでは、財政危機の初期段階において「国内資産でなんとかする」との発想が蔓延していたという。さらにそれが背景となって、政府にも債務残高を自ら何とかしようという強い意志が次落していたのは誰の目にも明らかだった。日本にとっても、他人事ではない話に思える。

「メンタリティーの緩みによって、経済データの優位性は気づいたときには覆えていることがある」と先の国際金融筋は指摘する。

日本の財政に対する自己規律が相対的に緩いことを証明する良い例がある。リーマンショック後の財政収支の悪化は先進国共通だったにも関わらず、08年以降14年までの改善ペースは先進7カ国中、日本が最も遅い。

加えて債務残高の規模がずば抜けて巨額であることも不安を誘う。債務残高GDP比は11年にギリシャが134%、日本は14年度末見通しで202%、金額にして1000兆円と、08年当時のギリシャ債務残高0.3兆ユーロ（42兆円程度）とは比較にならない。

そして日本の最大の弱点は、援助の手を差し伸べてくれる仲間がいないことかもしれない。ギリシャにはユーロ圏という援助を頼める仲間、言い換えれば、援助せざる得ない立場の国々がいた。

財政危機に陥った日本が、国際通貨基金（IMF）に対して、たとえ厳しい指導と引き換えに援助を仰いだとして

も、この国の巨額の債務には焼け石に水ということもあり得る。「日本はギリシャと違って孤立無援なのだ」と自覚した方がよい」との国際金融筋の指摘はその通りだろう。

安倍政権は、まずは経済の好循環を実現することを優先し、税収増を通じたルートで財政再建を目指すとしている。それはそれで一つのやり方として評価できる。ただし、社会保障費を主因とした歳出の自然増が避けられない以上、債務削減の努力をするメンタリティーがなければ、ギリシャ化する日は近づくだろう。仲間のいない日本にとってはギリシャよりも悲惨な展開が待っているかもしれない。

（東京 29日 ロイター）

◎ アジアンレポート拡充のためボランティアスタッフを募集します。お問い合わせください。

● サハ共和国の太鼓文化再生のため若者太鼓グループ「テティム」（リズムの意味）太鼓研修は、7月21日から一週間、愛川町を中心に実施されます。受け入れ計画調整中です。

| サハ共和国の児童太鼓グループ「テティム」来日予定                       |                                  |                     |
|------------------------------------------------|----------------------------------|---------------------|
| 申請人 Khatylaev German ・ Klaudia、通訳ジェーニャ、他女性17名。 |                                  |                     |
| 年 月 日                                          | 行 動 予 定                          | 宿 泊 予 定 先           |
| 7月21日（月）                                       | 来日。成田からバスで愛川町へ。金子竜太郎氏と合流。        | 旅館 川正               |
| 7月22日（火）                                       | 終日愛川町で和太鼓研修                      | 旅館 川正               |
| 7月23日（水）                                       | 終日愛川町で和太鼓研修                      | 旅館 川正               |
| 7月24日（木）                                       | 終日愛川町で和太鼓研修                      | 旅館 川正               |
| 7月25日（金）                                       | 終日愛川町で和太鼓研修                      | 旅館 川正               |
| 7月26日（土）                                       | 愛川町文化会館で第5回アジア・シルクロード音楽祭一笛と太鼓の祭典 | 旅館 川正               |
| 7月27日（日）                                       | 女性和太鼓集団「悟空」とのジョイントコンサートを模索       | 国立オリンピック記念青少年総合センター |
| 7月28日（月）                                       | 企画調整中                            | 国立オリンピック記念青少年総合センター |
| 7月29日（火）                                       | 企画調整中                            | 国立オリンピック記念青少年総合センター |
| 7月30日（水）                                       | 企画調整中                            | 国立オリンピック記念青少年総合センター |
| 7月31日（木）                                       | 成田から帰国。                          |                     |

発行：特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ 発行人：江藤セデカ  
住所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-11-5 TEL：03-5376-9343  
支部愛川サライ〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6314-1  
TEL：046-285-4895 FAX：046-265-0167 E-MAIL：[paf02266@nifty.ne.jp](mailto:paf02266@nifty.ne.jp)  
郵便振替：00190-7-87777 ユーラシアンクラブ お振込の場合：ゆうちょ銀行〇一九店 当座預金 0087777 ユーラシアンクラブ 会費、ご寄付はこちらへ。会費は正会員年間1口3,000円、学生会員1,000円、賛同会員2,000円。一口以上のご協力をお願い申し上げます。

<http://eurasianclub.org/>

2014 0201 Non Profit Organization Eurasian Club

編集後記：「アジアとつながる」を軸に活動を続けているが、今回のヤクーツク、シカチアリヤン訪問は、つながっているな、と実感できるものでした。人とのつながりだ。利害を超えたつながりは難しいな、というのがこれまでの体験だが、理想が共有できればやっていける。ヤクーツクもシカチアリヤンも、復興、再生がキーワード、考えてみれば、愛川町も、東日本大震災や原発被災地と同じ。人が等しく抱えているより良く生きたいという思いにつながっているのだと思う。少数民族や先住民族への敬意を欠いた行動や人命の軽視など、国家民族宗教的優越的な勢力による所業は「善」の「宗教」が国家のバックボーンとなってから始まった（お）